

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等 (水田)	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	2,040.5		2,471.0		2,300.0	
備蓄米	313.7	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
飼料用米	40.9	0.0	5.0	0.0	95.0	0.0
米粉用米	78.2	0.0	32.6	0.0	35.0	0.0
新市場開拓用米	10.1	0.0	21.4	0.0	85.0	0.0
WCS用稲	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加工用米	209.4	162.3	206.0	162.0	200.0	160.0
麦	354.3	0.0	450.0	0.0	450.0	0.0
・大麦	319.5	0.0	400.0	0.0	400.0	0.0
・小麦	34.8	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
大豆	170.0	123.5	200.0	180.0	200.0	140.0
飼料作物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	11.5	0.0	18.6	7.1	15.0	8.0
なたね	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地力増進作物	1.0	0.0	1.4	0.0	2.0	0.0
産地戦略作物	6.7	1.5	6.6	1.5	10.0	2.0
ねぎ	1.1	0.0	1.0	0.0	2.0	0.0
かぼちゃ	0.7	0.0	0.7	0.0	1.0	0.0
ブロッコリー	0.6	0.0	0.6	0.0	1.0	0.0
たまねぎ	0.4	0.0	0.4	0.0	1.0	0.0
知事特認作物	3.9	1.5	3.9	1.5	5.0	2.0
・野菜	3.4	1.5	3.4	1.5	4.0	2.0
・雑穀	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・その他	0.5	0.0	0.5	0.0	1.0	0.0
高収益作物	14.4	0.0	19.4	0.5	20.0	0.0
・野菜	10.0	0.0	13.9	0.5	12.0	0.0
・花卉・花木	3.0	0.0	3.1	0.0	5.0	0.0
・果樹	1.4	0.0	1.3	0.0	2.0	0.0
・地域で設定した高収益作物	0.0	0.0	1.1	0.0	1.0	0.0
地域振興作物等 ※産地戦略作物を除く	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・雑穀	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・景観形成	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
畑地化	0	0	0	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	
				目標値	
1	(基幹作物) 麦・大豆	土地利用型作物助成	収量(kg/10a)の増大 GAP取組面積(ha)の拡大	(R5年度) 大麦:310, 小麦:343, 大豆: 72 (R5年度) 大麦:319, 小麦: 34, 大豆:157	(R8年度) 大麦:400, 小麦:450, 大豆:200 (R8年度) 大麦:400, 小麦: 50, 大豆:200
2	(基幹作物、二毛作) 大豆	大豆300A技術支援助成	収量(kg/10a)の増大 GAP取組面積(ha)の拡大	(R5年度) 72 (R5年度) 157	(R8年度) 200 (R8年度) 200
3	(基幹作物) たまねぎ、にんじん、だいこん、 まるいも、ねぎ、かぼちゃ、いぐさ、 ブロッコリー、加工用トマト (二毛作) にんじん、だいこん	産地戦略作物助成	作付面積(ha)の拡大	(R5年度) 6.7	(R8年度) 10.0
4	(基幹作物) 野菜等、花卉(花木を含む)、 果樹、その他作物 ※ 別紙3対象品目一覧	高収益作物助成	作付面積(ha)の拡大	(R5年度) 14.4	(R8年度) 15.0
5	(基幹作物) そば	そば作付助成	作付面積(ha)の拡大	(R5年度) 11.5	(R8年度) 15.0
6	(基幹作物) 新市場開拓用米	新市場開拓用米助成	作付面積(ha)の拡大	(R5年度) 10.1	(R8年度) 22.0
7	(基幹作物) 新市場開拓用米	新市場開拓用米助成 の複数年契約支援	複数年契約 取組面積(ha)・数量(t)	(R5年度) - - -	(R8年度) 5.0・20 t
8	(基幹作物) 地力増進作物	地力増進作物導入助成	作付面積(ha)の拡大	(R5年度) 1.0	(R8年度) 2.0

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:石川県

協議会名:小松市農業活性化協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	土地利用型作物助成	1	14,100(上限単価:35,000)	麦・大豆	畝間灌水、中耕培土、消雪時追肥、止葉展開期追肥
2	大豆300A技術支援助成	1	10,000	大豆	畝間灌水、中耕培土
2	大豆300A技術支援助成(二毛作)	2	10,000	大豆	畝間灌水、中耕培土
3	産地戦略作物助成	1	50,000	たまねぎ、にんじん、だいこん、まるいも、ねぎ、かぼちゃ、いぐさ、ブロッコリー、加工用トマト	作付面積に応じ、支援
3	産地戦略作物助成(二毛作)	2	50,000	にんじん、だいこん	作付面積に応じ、支援
4	高収益作物助成	1	5,000	野菜等、花卉(花木を含む)、果樹、その他作物(別紙3)	作付面積に応じ、支援
5	そば作付助成	1	0(上限単価:20,000)	そば	作付面積に応じ、支援
6	新市場開拓米助成	1	0(上限単価:20,000)	新市場開拓用米	作付面積に応じ、支援
7	新市場開拓米助成の複数年契約支援	1	0(上限単価:10,000)	新市場開拓用米	令和6年度から新たに結ぶ3年以上の複数年契約に基づき、新市場開拓用米を作付する者のうち、コメ新市場開拓等促進事業で採択された者
8	地力増進作物導入助成	1	0(上限単価:20,000)	地力増進作物	作付面積に応じ、支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。